

質問 3 あなたは、覚せい剤を使ったり、持っていたりした場合、どうなると思いますか。  
 (あなたの考えにあてはまるものを一つだけ選んで教えて下さい)

1. 法律により罰せられる。
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない。
3. 常習的に使用しなければ、罰せられることはない。
4. 所持していても、使用したことがなければ、罰せられることはない。
5. 所持していても、使用した証拠がなければ、罰せられることはない。
6. 罰せられることはない。
7. わからない。

	1	2	3	4	5	6	7
男・16～19歳	89.8	0	4.1	0	0	0	6.1
20歳代	98.7	0	1.3	0	0	0	0
30歳代	97.4	0	0	0	1.3	0	1.3
40歳代	98.1	0.9	0	0	0	0	0.9
50歳代	95.0	0.7	0.7	0	2.1	0	1.4
60歳以上	91.4	0	0.9	2.1	1.3	0	4.3
女・16～19歳	95.8	0	0	0	0	0	4.2
20歳代	93.3	0	1.1	0	2.2	1.1	2.2
30歳代	95.4	0	1.5	0.8	1.5	0	0.8
40歳代	97.4	0	0	0.6	1.3	0.6	0
50歳代	94.9	0	1.0	1.0	1.0	0	2.1
60歳以上	87.3	0.9	0.5	1.4	1.9	0.5	7.5

性・年代によらず「法律により罰せられる」を選んだ者が一番多く、自明の結果となっている。問題なのは男の16歳から19歳の者の4.1%が「常習的に使用しなければ、罰せられることはない」を選んでいることである。他の年代と比べて多すぎる結果となっている。また、分からないという回答も6.1%となっており、男の16歳から19歳は覚せい剤に関して他の年代とは異質な集団になっている可能性がある。(男の16歳から19歳の回答者数は49名と少なく、一人の回答が約2%の重みを持つ、4.1%と言っても、たかだか2名が答えているだけである。サンプル数が10倍程度にならないと軽々に議論できないことは十分に認識しているが、得られた結果から、できる範囲で情報を抽出しようとすることは統計的データ分析の本質であることも事実である。)

Fig.3

質問3(性・年代別集計)

